

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月30日

計画の名称	基礎調査重点推進計画（防災・安全）											
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	奈良県											
計画の目標	本県では土砂災害危険箇所における危険の周知・警戒避難態勢の早期整備を目指し、「土砂災害警戒区域（以下、イエロー区域）」の調査・指定を優先的に取り組み、平成23年度に全イエロー区域の調査、平成27年度に全イエロー区域の指定作業を完了。また、平成22年度より災害時要援護者関連施設及び避難所が立地している地域を優先し「土砂災害特別警戒区域（レッド区域）」の調査に取り組んでいるが、H27年1月の「土砂災害防止法」の改正の趣旨に鑑み、H27年度からはイエロー区域におけるレッド調査を推進し、H31年度を目処に全イエロー区域におけるレッド区域の指定完了を目指す。また、H32年度以降は2巡目の調査を行う予定。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,900	A	3,900	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	イエロー区域におけるレッド調査実施率 イエロー区域におけるレッド調査実施率 レッド調査実施済みイエロー区域数/全イエロー区域数×100	21%	75%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 奈良県県土マネジメント部で評価	事後評価の実施時期 令和5年3月
	公表の方法 奈良県ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	全イエロー区域におけるレッド調査を実施した結果、H31年度にレッド区域9832箇所を指定完了した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	レッド区域の指定結果を市町村と共有することにより、市町村の防災体制の向上につながった。
特記事項（今後の方針等）	
引き続き、ソフト・ハード対策を連携させ対策を実施し、さらなる安全・安心な生活基盤の確保を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	%	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%